

は知らんというような極端な風潮があることを私は悲しく思っております。

例えば、老人問題にしても、養護老人ホームや寝たきり老人のホームに簡単に入れてしまうというように、家族意識というものが、非常に希薄になってきていますね。これではお年寄りは寂しいですよ。

やはり、自分達ほどどんなに苦勞をしても、できる間は一緒に暮らし、身のまわりのお世話をする。これが日本古来からの美風だと思います。
どんなに施設を拡充整備しても本来の福祉というものは実現しないと思いますよ。不可欠なのは心という要素ですね。

◇大切な

住民間の

意思の

疎通

＝環境整備＝

(福成)「私は団地に住んでるんですが、音の公害からゴミ処理の問題まで、悩みはつきないんですが、こういうところに対する行政の手助けというものはないものでしょうか。
(知事)「地域社会の連帯感といいますか、先程申し上げましたように、団地内の行事を通じて融和を図っていくという

ことが、音の公害問題解決の決手になると思います。

ゴミ処理の問題は、本来、県の行政管轄ではありませんが、広域的にひとつの市町村ではどうにもならんという問題には、県は積極的にタッチしていこうと考えております。

(米ヶ田)「産業廃棄物のひとつで、ビニール処理の問題です。これは農家が使用したものですから農家が処理する責任もあると思いますが、煙による作物の被害等が発生するものですから困っていま

◇財源確保強力に要求

＝財政＝

(大滝)「最近、地方財政が硬直化していると言われております。それには公務員給与とかいろいろの問題があると思いますが、どう、お考えですか。

行政需要の増大

(知事)「それは自治体によって千差万別ですよ。熊本県の現状がそうだというところでは必ずしもありません。いくらかの影響はあっていると思います。国家公務員に対して軒なみに高いということは事実ですから。
一番基本的なことは、時代が進むにつれて地方行政に対する住民の要望という

す。
(知事)「熊本県は全国に比べて、処理工場の建設では進んでおる県なのです。現に玉名、八代、宇土にありますし、川尻には県経済連が工場を建てています。それだけ施設が整備されている県というのは他にありません。でも、運営という段階になって、予算面で問題があるんです。今後の課題ということになります。が、生産農家、処理工場側も運営促進のためにご協力もいただきたいと考えております。

ものが多面的になってきているということとです。
それこそ、大きな問題から生活上の小さな問題まで、いろいろな問題がでてきているわけです。
例えば、生活行政とか物資物価対策とかいふものは、ここ一二年前までは県の行政分野にはなかったことなのです。去年の暮れ施行された国土利用計画法というのも新しい仕事です。土地の値上り規制とか、大口の土地売買を県がチェックするものです。土地の取引だって、今までは民間の自由にかかされていたことなんです、時代が変ってくるにつれ

て新しい仕事の分野というのが次々に行政分野の中に入りこんできているんですね。それに対して人も使わなければならないし、予算もいります。
しかし、それを財源という面から、別に国がみてくれるわけではありません。公害問題などもそのひとつです。例えば、水俣病対策というひとつを取り上げてみても、相当の人間と予算を使っているんですが、これに対して特別に国が財源措置を講じてくれるかというと、必ずしもそうではないんです。
仕事はいろいろ増えているのに、予算には限りがあるということですね。
今後の問題としては、新しい時代に即して、国がなすべきこと、県がしなければならぬこと、市町村で担当すべきこととの区分けを明確にし、それに相応する適正な財源配分を行うことが大切だと思います。私はそのことを国に対し強く要望すると同時に、県自体ではできるだけ無駄を省き能率よく県民の行政への要望に応え得る組織、機構づくり等を考えなければならぬと思っています。
そして、財政的にどんなに苦しくとも、大事なことにについては県民のご期待に沿う県政を積極的にやってくつつもりですので、今後ともよろしくご理解とご協力をお願いいたします。

地域住民の声を聴く

県政モニター



▲熊飽地区モニター会議で



▲発言者たち
(貴重なご意見をいただきました)



▲県側

県では常に県民との対話、県民総参加の県政に努めています。その一つとして、県民の方々の県政に対する意見、要望などを幅広くお聞きし、県政に反映させる制度として、県政モニターがあります。現在モニター二百二十人、委嘱期間は一年です。
モニターの方から、いろいろな形で意見、要望を戴いておりますが、先に行った第三回アンケート
1) 今後生活上の力点。2) 消費生活。3) 防災意識の三項目の結果は次のとおりです。
これによると1)については、「健康に心がけたい」を第一位あげており、2)については、食品汚染が最大の関心事になっております。

また3)については、火災を一番心配な災害と考えており、特に災害の心得などのPRを望んでいることがわかりました。